

筑波メディカルセンター病院

Tsukuba Medical Center Hospital

地域医療支援病院

救命救急センター*

地域がん診療連携拠点病院

茨城県地域がんセンター

災害拠点病院*

臨床研修病院*

*国指定の機能



TSUKUBA
Medical Center
Hospital

私たちは医療者として、
法人の一員として、
TMC PRIDE を持って
毎日の仕事に励んでいます！

筑波メディカルセンター一病院



- 東京から北東に60 km
- 筑波山のふもと
- 筑波研究学園都市の中央
- つくばエクスプレスで45分
- つくば駅から約1 km



筑波メディカルセンター病院 概要

公益財団法人

453床（救命救急センター30床、二類感染症3床）

ICU3床、一般1病棟（36床）中12床をコロナ専用転用

救急患者総数 23377人（2022暦年25947）

救急車搬送件数 4268件（2022暦年 4941）

ドクターヘリ搬送件数 60件

ドクターカー診療実数 238件

（2021年度実績）

地域医療支援病院

災害拠点病院

臨床研修病院

地域がん診療連携拠点病院



TSUKUBA Medical Center Foundation

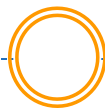
Tsukuba Medical Center Hospital

地域の救急医療を担うために病院を作った



- 科学万博 Tsukuba EXPO ' 85 に備え、茨城県内2番目の救命救急センターとして開院

看護部門の理念



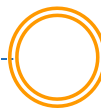
私達は、真摯さと根拠のある判断のもとに、
最善の看護を実践します

看護部門の活動方針

- ・ 患者さんや利用者さんの権利を尊重した看護を提供します
- ・ 病院・健診・在宅ケア事業において質の高い看護サービスを提供します
- ・ 法人内および地域や他の医療機関等と多職種連携を図ります
- ・ 看護のプロフェッショナルとしての人財を育成します
- ・ 看護職が生き生きと働ける職場環境を整備します
- ・ 看護として災害に備え、迅速に対応します



看護職員の状況



ベッド数	453床	入院基本料	急性期一般入院基本料1			
看護職員(単位:人)						
区分	部(副)・師長	スタッフ	非常勤	合計		
				男	女	計
法人全体	36	635	88	40	631	671
病院	29	568	47	40	528	568

2022年4月現在



TSUKUBA Medical Center Foundation

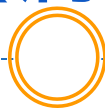
Tsukuba Medical Center Hospital

看護職の部署配置

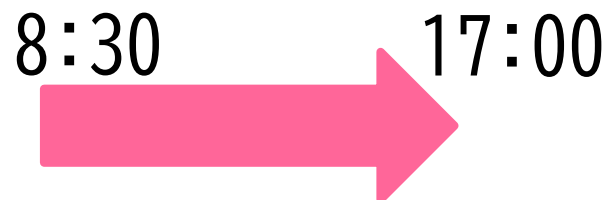
2022年4月予定

区分			病床	主な診療科	看護師	夜勤
外来		救急診療外来*	—	*新人の配属はなし	36	5/3
		専門診療外来*	—	*新人の配属はなし	17	—
手術室	手術室		—		32	3/2
1号棟	2 A	救命救急センター	10	集中治療室 (I C U)	29	5
	2 C	救命救急センター	20	重症病棟	33	5
	小児	小児病棟	15	小児科等	18	3
2号棟	3 E	成人一般病棟 (主にがん)	48	消化器外科・消化器内科・救急診療科・脳神経外科・ 乳腺科	29	4
	4 E		48	呼吸器内科・泌尿器科・婦人科・緩和医療科	29	4
	5 E		38	循環器内科・呼吸器内科・呼吸器外科・総合診療科・脳神 経内科	23	3
3号棟	2 N	特定集中病棟	10	特定集中治療室 (I C U)	30	5
	2 S	成人一般病棟 (主に救急)	36	循環器内科・心臓血管外科・総合診療科・腎臓内科	25	3
	3 N		38	循環器内科・救急診療科・整形外科・消化器外科	23	3
	3 S		36	整形外科・呼吸器内科・消化器内科・感染	23	3
	4 N		38	脳神経外科・呼吸器内科・整形外科・心臓血管外科	23	3
	4 S		36	脳神経外科・脳神経内科・総合診療科・感染	23	3
	PCU		緩和ケア病棟*	20	緩和医療科 (P C U) *新人の配属はなし	22

看護職の勤務時間（病棟）



日勤



ロング日勤



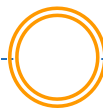
中勤



夜勤



看護部門の教育方針・目的・目標



教育方針

専門職としての役割と自覚を持って、顧客を中心とした質の高い看護を実践できる人材を育成する

目的

一人ひとりの「目標とする看護」を大切にして、看護職としてのキャリアを支援する

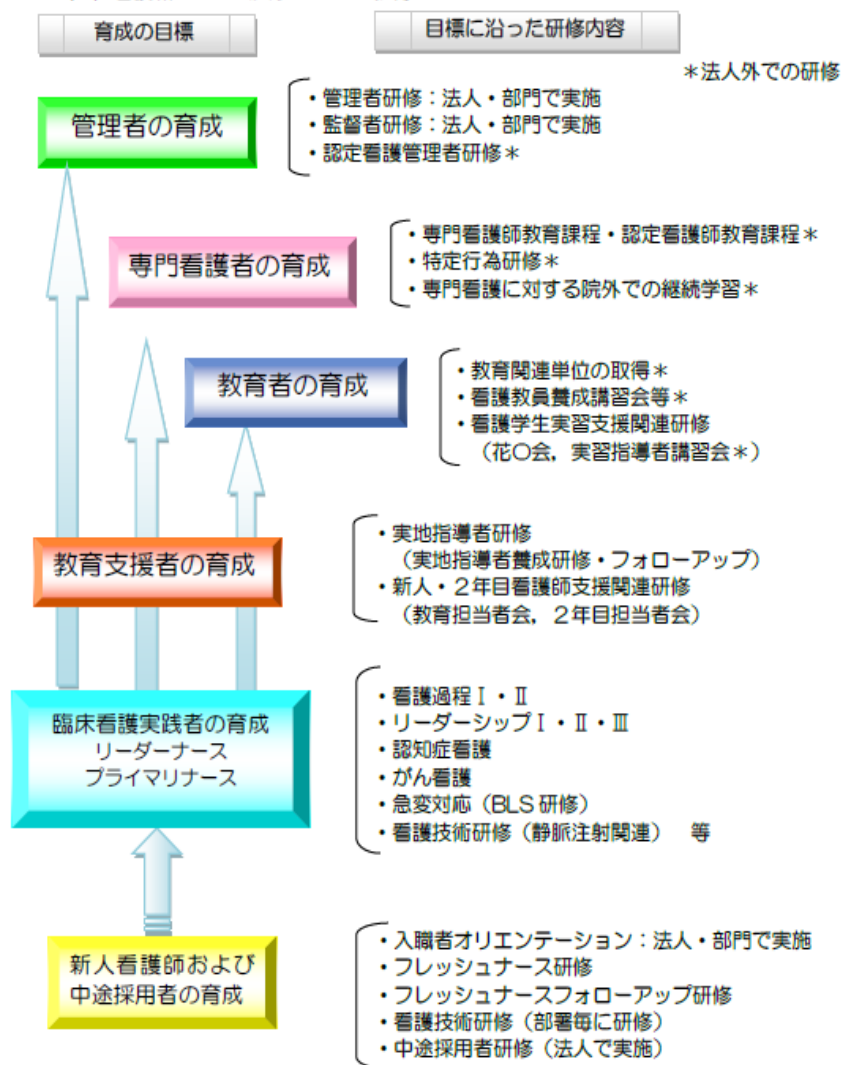
目標

1. 根拠に基づいた看護を実践できる看護職を育てる
2. 看護実践の検証・研究ができる環境を整える
3. チーム医療の中で、調整者としての役割を果たせるように支援する
4. 成長を促すような教育支援ができる看護職を育てる
5. 自己のライフスタイルに合わせた学習方法を選択できる環境を整える

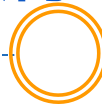
教育プログラム

看護職として成長するための教育プログラム

- 人材育成の目的を達成するための行動目標に沿った教育プログラムとしています。
- 新人教育→プライマリナースやリーダーナース、教育支援者の役割が担える臨床実践看護者を育成します。さらに教育者、専門看護者、管理者の育成というステップを考慮しています。
- 院内での教育の範囲は、教育支援者の育成までと考えています。
- 自分の能力を査定し、「自ら学ぶことは看護師としての基本的な態度である」ことを教育全般で養います。



新人教育体制/新人教育の考え方



新人看護師教育の考え方

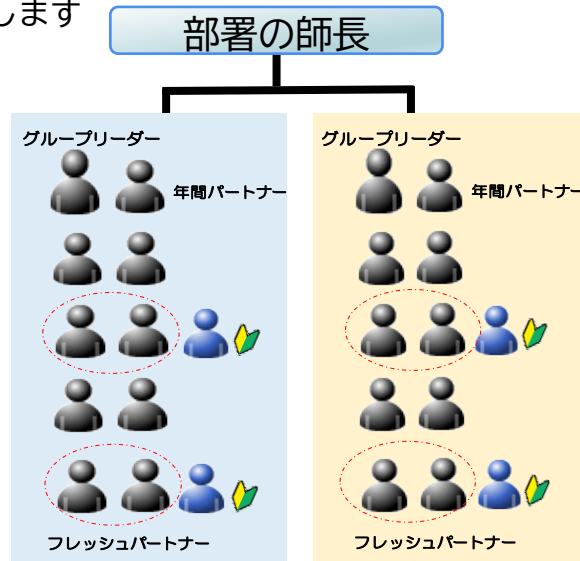
「新人教育には看護部全員で積極的に取り組む」が当院の基本姿勢です。また当院ではパートナーシップ・ナーシング・システムをとっているため、部署内の看護係長・看護主任を中心としたグループがあり、さらに1年間を通して相互に補完しあい、共に活動するパートナーを決めています。

新人看護師には卒後4～5年の看護師がフレッシュパートナーとなり、実地指導者も努めます。

実地指導者（フレッシュパートナー）は良いサポートができるよう研修を受けて準備をするほか、教育担当者という経験豊富な先輩看護師もしっかりと見守ります。

新人教育体制

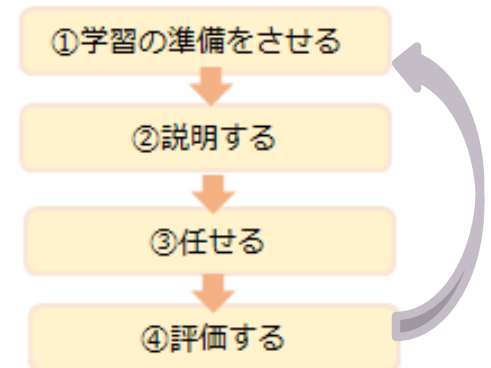
- 新人と実地指導者（フレッシュパートナー）がパートナーになります
- 教育担当者を置き、看護師長とともにバックアップします



新人教育の方法

- 各個人用にアロー（矢）チャートを活用して技術チェックを実施
- 経験を増やしていく方法を採用しています
- 指導方法

4段階方式



新人看護師の年間教育計画

集合研修と部署研修があります

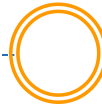
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
法人	集合研修	<ul style="list-style-type: none"> 法人オリ(6日間) 組織紹介 建機訓練 部門間体験 BLS/AED フレッシュバーソン研修 接遇・マナー 医療安全対策 感染対策 労働安全衛生管理 個人情報保護 人事評価制度 チーム医療 ストレスマネジメント 就業規則・勤怠管理 福利厚生 など 	オリエンテーション			フレッシュナース研修			フォローアップ研修					
	集合研修	<ul style="list-style-type: none"> 看護部門オリ 看護部門紹介 部門内委員紹介 怒怒管理 職員・看護師としての心構え 部署単位での院内感染・Q&A 日常検理・認知症 医療機器・材料管理 バイタルサインの測定 1日の振り廻り 16:00~17:00 	<ul style="list-style-type: none"> 看護部門オリ<感染対策> 標準予防策 手指衛生 個人防護具 環境清掃 など 	<ul style="list-style-type: none"> 看護部門オリ<医療安全1> 医療安全総論 医療安全統計 医療安全に関連した記録の原則と事故発生時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 看護部門オリ<医療安全2> 患者確認・検査時の安全対策 転倒・転落防止対策 治療・食事の安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> フレッシュナース研修 重症度・医療・看護必要度 看護倫理 	<ul style="list-style-type: none"> フレッシュナース研修 血液製剤 薬剤 医療機器 検体検査 輸血 放射線検査 講師・診療技術部門 	<ul style="list-style-type: none"> フレッシュナース研修 ファミカルアセスメント コミュニケーション チーム医療の一員としての役割 接遇 	フレッシュナースフォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> 看護師の役割 チーム医療の一員としての役割 接遇 				
看護部門	部署研修	<ul style="list-style-type: none"> 部署オリエンテーション 電子カルテの使い方 など 	看護技術研修											
	部署研修	<p>図1 臨床実践能力の構造</p> <p>I. II. III. は、それぞれ施設固有のものでなく、患者への看護ケアを通して統合されるべきものである。</p> <p>1. 医療安全の確保</p> <p>① 安全確保体制の確立と評価</p> <p>② 患者安全に即した、チーム連携</p> <p>③ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>④ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑤ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑥ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑦ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑧ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑨ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑩ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑪ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑫ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑬ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑭ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑮ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑯ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑰ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑱ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑲ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>⑳ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉑ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉒ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉓ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉔ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉕ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉖ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉗ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉘ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉙ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉚ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉛ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉜ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉝ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉞ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㉟ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊱ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊲ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊳ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊴ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊵ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊶ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊷ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊸ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊹ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊺ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊻ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊼ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊽ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊾ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p> <p>㊿ 患者の安全確保に即した、標準化された看護実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理> 	<ul style="list-style-type: none"> 与薬<輸液ポンプの管理> <シリンジポンプの管理>
		<p>臨床実践能力の構造 : I 看護職員として必要な基本姿勢と態度 II 技術的側面 III 管理的側面</p> <p>看護技術を支える要素 : 1 医療安全の確保 2 患者及び家族への説明と助言 3 的確な看護判断と適切な看護技術の提供</p>												

新人看護師の集合研修



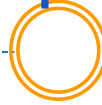
		研修項目	研修内容	開催月
集合研修	看護部 オリエンテーション	全体オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 看護部門概要 看護部委員会紹介 日常倫理 部署単位で院内案内/先輩看護師とのQ&A 医療機器・材料管理 看護師長/横断業務ナースの紹介 職員・看護師としての心構え 看護記録 バイタルサイン測定演習 	4月 (2.5日)
		感染対策	<ul style="list-style-type: none"> 標準予防策 個人防護具の着脱 手指衛生 環境清掃 	4月 (1日)
		医療安全1	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全概論 医療安全に関連した記録の原則と事故発生時の対応 医療安全統計 	4月 (1日)
		医療安全2	<ul style="list-style-type: none"> 患者確認・検査時の安全対策 転倒・転落防止対策 投薬時の安全対策 治療・食事の安全対策 	5月 (1日)
			<ul style="list-style-type: none"> ベッド操作（振り返りの時間を活用して実施） 	4月 (1時間)
フレッシュナース 研修	フレッシュナース研修Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 重症度、医療・看護必要度 看護倫理 	6月 (半日)	
	フレッシュナース研修Ⅱ	<診療技術部門の職員の講義> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤 検体検査 医療機器 輸血の取り扱い 放射線検査 	7月 (1日)	
	フレッシュナース研修Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> フィジカルアセスメント コミュニケーション 感染対策：吐物処理 	10~11月 (1日)	
		フレッシュナースフォローアップ研修（2ヶ月、9ヶ月）		6月(半日) 1月(半日)

新人看護師の部署研修（看護技術研修）



	研修の位置づけ	領域	研修項目	実施月
部署研修 （看護技術研修）	振り返りのための研修 * 技術は研修前に実施してよい	食事援助	食事援助	5～6月
		清潔・衣生活援助	口腔ケア	
		活動・休息援助	体位変換	
		排泄援助	おむつ交換	
		苦痛緩和・安楽確保の援助	姿勢・体位の保持	
		活動・休息援助	移乗	
学習/振り返りのどちらでもよい （部署毎に判断） * 提示していない研修項目の選択可		与薬	輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	5～6月
		排泄援助	膀胱留置カテーテルの挿入	7～8月 or 12～1月
		症状・生体機能管理	血糖時測定	
		呼吸・循環を整える援助	吸引（口腔内・鼻腔内）	
学習のための研修 * 技術は研修後に実施する		症状・生体機能管理	静脈血採血	7～8月
		与薬	静脈注射：静脈穿刺（末梢静脈路確保）	12～1月
		与薬	静脈注射：ヘパリンロック	

教育体制/研修サポート



研修の目的

看護師としての能力を高める

具体的内容

- 新人は年間3万円が支給されます。
- 経験年数や職位によって研修費がアップします(規定に定め)。
- 研修は、年5日間の特別休暇(研修休暇)が確保されています。
- 学会発表の場合は、出張費及び諸費用等で10万円以内の予算があります。
- 長期研修を受けることができます。

数ヶ月から1年間、在籍のままで研修に参加が可能です。

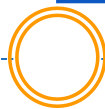
この場合、法人が月々の給与と必要な研修費用を補助します。

- 資格を取得するための研修に参加できます。

臨地実習指導者、認定看護師、専門看護師、特定行為研修

認定看護管理者、看護学校教員、大学院進学など

職場配属とローテーション



職場配属

新人が入職する際に第3希望まで確認し、配属先の希望に添うように配慮しています。

ローテーション

- 看護師のキャリアアップのために年2回実施しています。
- ローテーションに対する希望と看護部への要望を、直接、看護部長宛てに出すようにしています。
- 原則、希望に添って実施しています。

看護部門 ローテーション希望票

部署名 () 氏名 ()	
希望部署	希望理由
興味のある領域・分野・診療科などについて、具体的にご記入ください	
看護部門への要望を自由にお書きください。	